

全学一斉避難訓練

平成28年10月28日(金)
11:30～12:00

訓練の内容

今年度の全学一斉避難訓練では、屋外・屋内放送設備により緊急地震速報が放送されたら、以下の①～④の順で行動してください。説明をよく読み、行動内容と意味を確認して訓練に参加してください。

名古屋大学の建物は一定の耐震性を有しており、一回の地震で倒壊するようなことはほぼありませんが、強い揺れで建物が損傷したり、天井が落ちる、未対策の家具が倒れる、棚の物が落ちるなどの危険性があります。

①緊急地震速報で安全確保行動！

安全確保行動の3ステップ



この安全確保行動の訓練は、米国で950万人が参加したもので、名古屋市でも行われています。各自の状況に応じて行動してください。

場所により安全確保のための行動は異なります。教室などでは、机の下で頭を守り、机が動かないように押さえる姿勢が一般的です(左図)。

実験室では、薬品等があるため、できるだけ室内外の安全な場所に移動して安全確保行動をとります。

訓練では、緊急地震速報から10秒後に地震の揺れが始まり、2分間は強い揺れが続く想定です。その間、揺れているイメージを持って、安全確保行動を必ず続けてください。

②安全に避難

揺れが収まったら、教員等の指示に従って、屋外に避難します。急ぐ必要はありません。建物近くの一次避難場所まで、落ち着いて整然と避難しましょう。

避難するときには貴重品などは身に付けてください。また一次避難場所や避難経路は建物で決まっています。教職員や自衛消防隊員の指示に従ってください。

避難時の原則

お：押さない
は：走らない
し：しゃべらない
も：戻らない

③避難者確認

避難を終えたら、教員又は各建物の自衛消防隊員に予め記入しておいた避難者確認カードを渡してください。

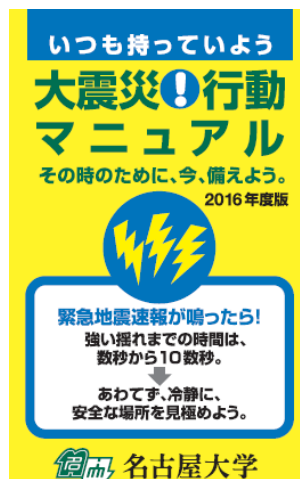
非常時に、一次避難場所で安全が確保できた避難者を確認することは、その後の対応のために重要です。大震災行動マニュアルに訓練用と災害時用の避難者確認カードがついています。今回の訓練では、その訓練用を使って、残りは、将来の地震に備えて持ち歩くようにください。

④安否確認システム 対応訓練

**登録されたメールアドレスへ
安否確認メールが届きます。**

情報セキュリティ自己点検で登録されたアドレスに安否確認メールが届きます。メールのURLをクリックして安否状況を入力してください。

入力期限: 11月1日(火) 17:00(なるべく早く入力)

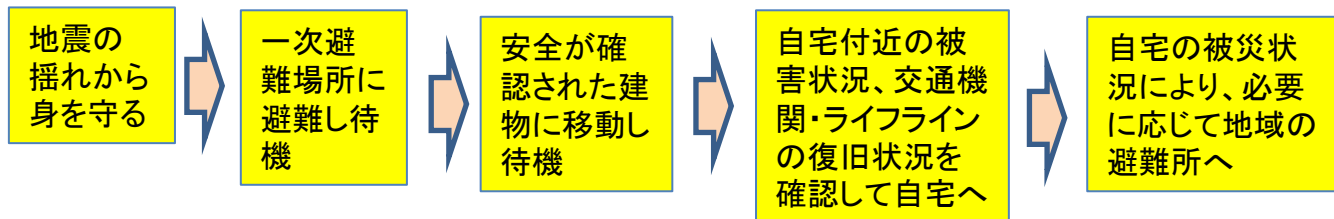


大地震発生時の行動

南海トラフ地震など大地震が発生した場合の行動は、発生時間や地震の規模によって変化しますが、平日の日中に発生した場合は概ね以下の流れになります。

名古屋大学では、地震発生時には、キャンパスをいくつかに分けたブロックごとに自衛消防隊が組織されるほか、けが人の救護にあたる救護センターや建物の安全性を調査する応急危険度判定センターなどが設置されます。

学生の皆さんは、大学で被災した場合、教員や自衛消防隊員の指示に従って行動してください。



南海トラフの巨大地震の被害想定

南海トラフの巨大地震が発生すると、静岡県から九州までの広い範囲で揺れによる建物倒壊や津波などにより大きな被害を生じます。以下に過去の最大クラスの地震を考慮した名古屋市内の地震被害予測の一部を示します。

〈名古屋市内の死者・負傷者〉

死者数	約1,400人
重傷者数	約600人
軽症者数	約4,500人

〈名古屋市内の建物全壊数・焼失棟数〉

揺れによる全壊数	約4,900棟
液状化による全壊数	約2,300棟
津波による全壊数	約2,900棟
地震火災による焼失数	約50棟～4,900棟

〈名古屋市内の停電軒数〉

直後の停電軒数	約123万軒(全体の約89%)
1日後の停電軒数	約111万軒(全体の約81%)

被災当日は交通信号もつかない真っ暗な夜になる！！

(事例) 東日本大震災における東北大学の被害

これまでの被害例から、自らの被害イメージを持とう！



校舎の上階が被災した例

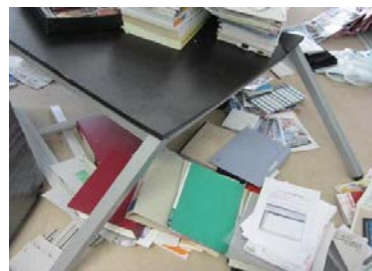


2階建校舎の1階の柱が被災した例



重い実験器具が移動した例。人がいたら確実に挟まれる。

実験室の火災



重い本棚が倒れると、テーブルもつぶされる。



名古屋大学防災推進本部

お問い合わせ先：災害対策室（東山内線6040）

詳しくは、災害対策室ホームページ(www.seis.nagoya-u.ac.jp/taisaku)